

福島を舞台にした文学

福島県内の各地を舞台にした文学作品、福島県にゆかりある人物をモデルとした作品を地方別に紹介します。会津地方、中通り、浜通りと、地方ごとに文化・歴史・気候それぞれ特徴をもっています。文学を通じて、各地方の持つ風土を知るとともに、それぞれに故郷への郷愁を感じることができるのではないのでしょうか。
また、福島を舞台の東日本大震災を題材とした文学もあわせてご紹介します。

※公開図書室に出ているものを中心に掲載いたしました。また、「書」と付いている資料は書庫の資料ですので、ご覧になりたい場合は貸出・登録カウンターの職員にお申し付けください。

会津地方ゆかりの文学

	福島県文学全集 第1期(全6巻)・第2期(全6巻)	澤 正宏／編	郷土出版社	2001～ 2002	L918.6/F4/1-1～1-6 L918.6/F4/2-1～2-6
	『蒲生氏郷』幸田露伴著(1期2巻), 『水芭蕉』真船裕著(尾瀬が舞台)(1期4巻), 『小磐梯』井上靖著(磐梯山噴火を題材)(1期5巻), 『悲運の城』田宮虎彦著(戊辰戦争を題材)(1期4巻), 『魄』綱淵謙錠著(1期6巻), 『磐梯高原の熊』由起しげ子著(2期2巻)ほか				
	乳と蜜の流るゝ郷	賀川 豊彦／著	家の光協会	2009	L913.6/K32/2
	北塩原村出身の主人公を通じて、当時の農民の真情と農村の現状を描いた作品。昭和10年(1935)初出。				
	落城 霧の中 『筑摩現代文学大系64 田宮虎彦 梅崎春生集』より	田宮 虎彦／著	筑摩書房	1979	918.6/C2/64
	「落城」は、明治維新に際し、会津藩をモデルにした黒菅藩を舞台とする歴史小説。昭和24年(1949)初出。「霧の中」は、同時期の会津武士を主人公にしている短編小説。				
書	二等兵物語 全5巻	梁取 三義／著	彩光社	1970～ 1971	913.6/Y32/ 2-1～2-5
	著者は只見町出身。会津若松の連隊に入営し、敗戦までを描いた戦争小説。昭和28年(1953)初出。				
	けんかえれじい 上・下 岩波現代文庫	鈴木 隆／著	岩波書店	2005	L913.6/S33/ 3-1～3-2
	戦前、岡山から喜多方中学へ転校し、喧嘩に明けくれた人生を描いた青春小説。下巻は軍隊編。昭和41年(1966)初出。				
	王城の護衛者 講談社文庫	司馬 遼太郎／著	講談社	2007	L913.6/S19/2
	幕末の会津藩主・松平容保を主人公とした作品。昭和43年(1968)初出。				
書	峠 前篇・後篇	司馬 遼太郎／著	新潮社	1968	913.6/S50/ 18-1～18-2
	戊辰戦争時に、塩沢村(現只見町)で息をひきとった河井継之助を主人公にした小説。				
書	おけい 上・下	早乙女 貢／著	文芸春秋	1981	L289/O15/ 7-1～7-2
	明治2年に初の女性移民として、アメリカに渡った少女の一生を描いたもの。昭和49年(1974)初出。				
	遠き落日 上・下	渡辺 淳一／著	角川書店	1979	L913.6/W5/ 1-1～1-2
	野口英世の半生を描いた伝記小説。第14回吉川英治文学賞受賞作。				
	会津おんな戦記	福本 武久／著	筑摩書房	1983	L913.6/F7/2
	山本(新島)八重を主人公にした小説。続編は、『新島襄とその妻』、『小説・新島八重』。				
書	会津士魂 全13巻 ・ 続会津士魂 全8巻	早乙女 貢／著	文芸春秋	1985～ 2001	L913.6/S26/ 1-1～1-21
	戊辰戦争を会津藩側から描いた長編小説。第23回吉川英治文学賞受賞作。				

流星雨	津村 節子／著	岩波書店	1990	L913.6/T17/1
戊辰戦争前後の会津、斗南での生活を描いた小説。第29回女流文学賞受賞作。				
鬼官兵衛烈風録	中村 彰彦／著	歴史春秋出版	2008	L913.6/N6/27
会津を率い戊辰戦争を戦った会津藩士・佐川官兵衛を主人公にした小説。平成3年(1991)初出。				
二つの山河	中村 彰彦／著	文藝春秋	1994	L913.6/N6/5
大正時代初期に徳島のドイツ人俘虜収容所所長として、ドイツ人俘虜に人道的処遇を施した会津人・松江豊寿の生涯を描いた小説。第111回直木三十五賞受賞作。				
名君の碑 保科正之の生涯	中村 彰彦／著	文藝春秋	1998	L913.6/N6/16
三代将軍家光の異母兄として生まれ、会津藩主となった保科正之の生涯。				
山嵐	今野 敏／著	集英社	2000	L913.6/K41/2
講道館の西郷四郎をモデルとした小説。				
幕末銃姫伝 京の風会津の花	藤本 ひとみ／著	中央公論新社	2010	L913.6/F5/1
会津藩士の娘、山本(新島)八重を主人公にした小説。続編は、『維新銃姫伝会津の桜 京都の紅葉』。				
へその曲げ方 西郷頼母会津藩始末	ジェームス三木／著	学研パブリッシング	2012	L913.6/J5/1
会津藩家老、西郷頼母を主人公にして戊辰戦争を描く。				
レオン氏郷	安部 龍太郎／著	PHP研究所	2012	L913.6/A21/1
戦国時代、会津の鶴ヶ城を築いた蒲生氏郷の生涯を描いた小説。				
バルビゾンの夕暮れ 会津の風光	田辺賢行／著	東京図書出版	2015	L914.6/T17/1
会津地方でのエピソードが綴られた随筆集。第39回福島民報出版文化賞奨励賞受賞作。				
葵の残葉	奥山 景布子／著	文藝春秋	2017	L913.6/O22/1
徳川の分家筋・高須に生まれた松平家・四兄弟を描いた小説。四兄弟の一人、松平容保は幕末期の会津藩藩主。第37回新田次郎文学賞および第8回本屋が選ぶ時代小説大賞受賞作。関連作品に、『葵のしずく』。				
会津執権の栄誉	佐藤 巖太郎／著	文藝春秋	2017	L913.6/S72/1
400年の長きにわたり会津を治めた名家、芦名家の存亡を描いた連作短編集。第7回本屋が選ぶ時代小説大賞受賞作。著者は、福島市出身。				
ひとり白虎 会津から長州へ 集英社文庫	植松 三十里／著	集英社	2018	L913.6/U7/3
白虎隊で唯一生き残った飯沼貞吉を主人公とした小説。				
荒城に白百合ありて 角川文庫	須賀 しのぶ／[著]	KADOKAWA	2022	L913.6/S81/1-2
薩摩藩の青年と会津藩の少女の出会いを軸として、幕末の動乱を描いた小説。令和元年(2019)初出。				
闘鬼斎藤一 集英社文庫	吉川 永青／著	集英社	2021	L913.6/Y22/3
新選組隊長として会津戦争に参戦した新選組三番隊隊長・斎藤一の生き様を描いた小説。第4回野村胡堂文学賞受賞作。				
不思議な現象解決します 会津・二瓶漆器店 光文社文庫	広野 未沙／著	光文社	2021	L913.6/H44/1
現代の会津若松市の漆器店が舞台の小説。				
マイクロスパイ・アンサンブル	伊坂 幸太郎／著	幻冬舎	2022	L913.6/I41/1
猪苗代湖で毎年開催されている音楽フェス「オハラ☆ブレイク」にて2015年から2021年まで配付された、猪苗代湖を舞台にした書き下ろしを一冊にまとめた短編集。				
空を駆ける	梶 よう子／著	集英社	2022	L913.6/K87/1
バーネット原作『小公女』などを翻訳した文学者・若松賤子(会津藩出身)を描いた小説。				
会津百年花 『会津藩教育考』の編纂に命をかけた男小川渉の生涯 鶴賀 イチ／著	歴史春秋出版	2023	L913.6/T55/1	
『会津藩教育考』を編纂した、小川渉の生涯を描いた一冊。第47回福島民報出版文化賞奨励賞受賞作。				

中通り地方ゆかりの文学

福島県文学全集 第1期(全6巻)・第2期(全6巻)	澤 正宏／編	郷土出版社	2001～ 2002	L918.6/F4/1-1～1-6 L918.6/F4/2-1～2-6
『山椒大夫』森鷗外著(信夫郡)(1期2巻), 『流行火事』久米正雄著(郡山市桑野付近が舞台)(1期2巻), 『禰宜様宮田』宮本百合子著(飯坂温泉～穴原温泉が舞台)(1期2巻), 『貧しき人々の群』宮本百合子著(安積開拓の中心開成山が舞台)(1期2巻), 『お三輪』水野仙子著(磐梯熱海から猪苗代が舞台)(1期2巻), 『吾妻の白猿神』戸川幸夫著(吾妻山に暮らす木こりと猿の物語)(1期5巻), 『はてしらずの記』正岡子規著(白河～福島の記事)(2期1巻), 『勢至堂峠』柳田国男著(2期1巻), 『飯坂ゆき』泉鏡花著(2期1巻)ほか				

書 歴史 二本松藩士の維新	榊山 潤／著	富士見書房	1990	L913.6/S7/3
戊辰戦争の激動期、二本松の霞ヶ城の落城を描いた作品。第3回新潮社文芸賞受賞作。昭和13年(1938)初出。				
碑・テニヤンの末日 新潮文庫	中山 義秀／著	新潮社	1993	L913.6/N7/10
「碑」は幕末の長沼藩(現須賀川市)を舞台にした小説。著者は、大信村(現白河市)出身。昭和14年(1939)初出。				
智恵子抄 ハルキ文庫	高村 光太郎／著	角川春樹事務所	2011	L911.5/T18/26
高村光太郎が妻智恵子(二本松市安達町出身)を想って綴った詩集。昭和16年(1941)初出。				
和紙 東野辺薫作品集	東野辺 薫／著	五月書房	1971	L913.6/T2/3
安達町(現二本松市)の上川崎の紙漉き集落が舞台。著者は、二本松町(現二本松市)出身。第18回芥川賞受賞作。昭和18年(1943)初出。				
松川裁判 上・中・下 中公文庫	広津 和郎／著	中央公論社	1976	L327.8/H1/ 7-1～7-3
昭和24年の松川事件を題材にし、被告たちの潔白を主張した評論。昭和29年(1954)初出。				
小説智恵子抄 人間叢書	佐藤 春夫／著	日本図書センター	2000	L913.6/S31/2
詩集「智恵子抄」をもとに、光太郎と智恵子を描いた物語。昭和32年(1957)初出。				
女坂 新潮文庫	円地 文子／著	新潮社	1993	L913.6/E2/1
明治初期の福島市が登場。福島県の大書記官の妻の半生を描く。昭和32年(1957)初出。				
天才画の女 『松本清張全集41』より	松本 清張／著	新潮社	1983	918.6/M12/1-41
福島県の架空の町・真野町を舞台としている。石川町と三春町がモデルとなっている長編サスペンス小説。昭和53年(1978)初出。				
子守学校 文学の館	菅生 浩／作	ポプラ社	1980	L913.8/S2/2
著者は郡山市出身。郡山の陣屋跡にあった子守学校を舞台にした児童文学。『子守学校の女先生』、『さいなら子守学校』の三部作。第5回路傍の石文学賞受賞作。				
大世紀末サーカス 『安岡章太郎集10』より	安岡 章太郎／著	岩波書店	1984	918.6/Y10/2-10
飯野町生まれの高野広八が、明治維新の頃、曲芸師を連れてアメリカ・ヨーロッパを巡業した物語。昭和59年(1984)初出。				
破軍の星	北方 謙三／著	集英社	1990	L913.6/K28/1
南北朝時代に活躍した、霊山城(現伊達市霊山町)を治めていた北畠顕家を描いた小説。第4回柴田錬三郎賞受賞作。				
黒塚	夢枕 獯／著	集英社	2000	L913.6/Y16/1
二本松市の安達ヶ原に伝わる「鬼婆伝説」をモチーフとした伝奇SF小説。				
警官魂 激震篇・反撃篇 講談社文庫	松浪 和夫／著	講談社	2011	L913.6/M17/ 3-2-1～3-2-2
福島県警をモデルにした警察小説。福島市内を詳細に描いている。著者は福島市出身。平成23年(2011)刊『刑事魂』の改題。				

独眼竜と会津の執権 幻冬舎時代小説文庫	吉川 永青／著	幻冬舎	2021	L913.6/Y22/1
蘆名家老金上盛備と伊達政宗の攻防、摺上原の戦いを描いた歴史小説。平成24年(2012)刊『時限の幻』の改題。				
青春レポリューション	大鳥 研二／著	幻冬舎ルネッサンス	2012	L913.6/O17/1
1970年、福島市にある高校の新聞部を舞台に、17歳の主人公を描く青春小説。著者は福島市出身。				
シンクロシティ 法医昆虫学捜査官	川瀬 七緒／著	講談社	2013	L913.6/K66/1
ミステリー小説。後半の舞台は白河市近辺。著者は白河市出身、平成23年に『よろずのことに気をつけよ』で第57回江戸川乱歩賞を受賞した。				
夕焼け小焼けで陽が昇る 講談社文庫	小泉 武夫／[著]	講談社	2013	L913.6/K65/1
昭和30年代の福島・阿武隈山地を舞台に描く自伝的小説。著者は小野町出身。				
でれすけ忍者 光文社時代小説文庫	幡 大介／著	光文社	2013	L913.6/B4/1
陸奥国白河藩に仕える忍者の家の養子が主人公の長編時代小説。				
空の走者たち ハルキ文庫	増山 実／著	角川春樹事務所	2016	L913.6/M39/1-2
須賀川市出身のマラソンランナーを主人公とし、同郷のオリンピック選手・円谷幸吉とウルトラマンの生みの親・円谷英二にも焦点を当てた小説。平成26年(2014)初出				
維新の肖像 角川文庫	安部 龍太郎／[著]	KADOKAWA	2017	L913.6/A21/2-2
歴史学者・朝河貫一が、戊辰戦争を二本松藩士として戦った父・正澄を小説化することで、太平洋戦争へと向かう日本の問題の顕在化を試みる様子を描いた小説。平成27年(2015)初出。				
白河大戦争	白川悠紀／著	栄光出版社	2017	L913.6/S74/1
戊辰戦争の白河口の戦いを題材とした小説。第41回福島民報出版文化賞奨励賞受賞作。				
淳子のでっぺん	唯川 恵／著	幻冬舎	2017	L913.6/Y30/1
女性として世界で初めてエベレストに登頂した登山家・田部井淳子(三春町出身)をモデルに、直木賞受賞作家が書き上げた小説。				
日月(ニチゲツ) 詩人高橋新二とその時代	関根 宏幸／著	歴史春秋出版	2018	L911.5/T1/3
福島市出身の詩人・高橋新二の評伝。当館の特殊文庫「福島詩人文庫」は高橋新二氏の寄贈資料群。第42回福島民報出版文化賞正賞受賞作。				
虎落笛 長沼智恵子の母親おセンの生涯	高橋 秀紀／著	歴史春秋出版	2018	L913.6/T6/8
高村光太郎の妻・長沼(高村)智恵子の母の「おセン」を主人公とした小説。				
エール 上・下 NHK連続テレビ小説	林 宏司／原案	NHK出版	2020	L913.6/S82/1-2
福島市出身の作曲家・古関裕而とその妻・金子をモデルとしたNHK連続テレビ小説「エール」(2020年放送)のノベライズ。				
伊達女 PHP文芸文庫	佐藤 巖太郎／著	PHP研究所	2024	LA913.6/S37/1-2
伊達政宗の周囲の女性たちを描いた連作短編小説集。正宗の正室・愛姫は、三春城主・田村清頭の娘。令和2年(2020)初出。				
わたしはあなたの涙になりたい ガガガ文庫	四季 大雅／[著]	小学館	2022	L913.6/S88/1
郡山市を舞台としたライトノベル作品。第16回小学館ライトノベル大賞大賞受賞作。著者は、郡山市出身。				
縁結び代官 寺西封元	土橋 章宏／[著]	KADOKAWA	2023	L913.6/D5/5
江戸時代に当時貧しかった農村の改革に従事し、現在の塙町の礎をかたちづくった陸奥国白川郡塙の代官・寺西封元を描いた小説。				
侍たちの沃野 大久保利通最後の夢	植松 三十里／著	集英社	2024	L913.6/U7/6
明治期に内務卿・大久保利通によって提言された大土木事業・安積疎水開削を題材とした小説。猪苗代湖の水を当時荒地であった郡山へと流し、肥沃な農地を拓くまでの様子を描いている。				

浜通り地方ゆかりの文学

福島県文学全集 第1期(全6巻)・第2期(全6巻)	澤 正宏／編	郷土出版社	2001～ 2002	L918.6/F4/1-1～1-6 L918.6/F4/2-1～2-6
『いなかぶり』島尾敏雄著(旧小高町を舞台)(1期4巻), 『祖父』志賀直哉著(幕末維新期の相馬家のを支えた家臣)(1期4巻), 『無言旅行』埴谷雄高著(相馬野馬追を題材にした随筆)(2期3巻)ほか				
移住民 復刻版	猪狩 満直／著	鏝出版	2000	L911.5/I4/7-1
北海道阿寒へ開拓者として移住し、そこでの生活を綴った詩集。著者はいわき市好間町出身。昭和4年(1929)初出。				
蛙 定本 愛蔵版詩集シリーズ	草野 心平／著	日本図書センター	2000	L911.5/K10/33
蛙の詩人草野心平が、自身の詩から選んで収録した詩集。いわき市小川町出身。昭和23年(1948)初出。				
書 たった二人の工場から	真尾 悦子／著	未来社	1984	L916/M1/2
昭和30年代始め、平市(現いわき市)で著者と夫のふたりで出版社を始め、『月刊いわき』を刊行した。夫妻の文学への情熱をめぐる悪戦苦闘の手記。昭和34年(1959)初出。				
天地静大 上・下 『山本周五郎長篇小説全集 第17・18巻』より	山本 周五郎／著	新潮社	2014	918.68/ヤシ36/17
幕末の相馬「中邑藩」を舞台に、幕末を生きる若者たちの希望と葛藤を描いた小説。昭和36年(1961)初出。				
人民は弱し官吏は強し 新潮文庫	星 新一／著	新潮社	1978	L289/H15/5
いわき市出身の実業家である父・星一の伝記。明治末から大正期、製薬会社を創立し、官僚と妨害されながらも誠実に生きる父の姿を描いた作品。昭和42年(1967)初出。				
湊をたらしめた神 中公文庫	吉野 せい／著	中央公論新社	2012	L914.6/Y1/5
詩人の夫(三野混沌)と共に開拓農民として、たくましく生きた農婦の身辺雑記。著者は小名浜町(現いわき市)出身。第6回大宅壮一ノンフィクション賞および第15回田村俊子賞受賞作。昭和49年(1974)初出。				
忘却の底から	島尾敏雄／著	晶文社	1983	L910.2/S7/1
両親が相馬郡小高町(現南相馬市小高区)出身の作家・島尾敏雄による自伝的エッセイ。小高での思い出についても触れられている。				
超高速!参勤交代 講談社文庫	土橋 章宏／著	講談社	2015	L913.6/D5/2
江戸時代、磐城国の小藩・湯長谷藩(いわき市湯本)の参勤交代をめぐる時代小説。2011年に脚本の城戸賞受賞。2014年に映画化。続編は『超高速!参勤交代リターンズ』。平成25年(2013)初出。				
フラダン	古内 一絵／著	小峰書店	2016	L913.6/F12/1
毎年いわき市で開催される「フラガールズ甲子園」に挑む男子高校生たちを描いた小説。				
茜の茶碗 裏用心棒譚	上田 秀人／著	徳間書店	2017	L913.6/U11/2-1
相馬中村藩士が主人公の「裏用心棒譚」シリーズ第1巻。第2巻は『流葉断の太刀』。				
烏山の烏	東田 浄土／著	郁朋社	2017	L913.6/H41/1
明治期の相馬事件を契機に、日本において法医学鑑定が手法として確立していく黎明期の様子を描いた小説。				
奥州戦国に相馬奔る 実業之日本社文庫	近衛 龍春／著	実業之日本社	2020	L913.6/K60/2-2
相馬家の戦国末期から徳川期に至るまでを綴った小説。相馬義胤を中心に描かれている。『慶長・元和大津波奥州相馬戦記』(毎日新聞社 2012年刊)の改題・加筆修正版。				
フラ・フラダンス 角川文庫	八坂 圭／ノバライズ	KADOKAWA	2021	L913.6/Y33/1
「スパリゾートハワイアンズ」のダンサー・フラガールを題材とした2021年12月公開映画のノバライズ。				
ロココ・キッチン	川内 有緒／編著	植田印刷所	2024	L914.6/K35/1
大熊町や双葉町、国道6号線沿いに住む人々から、「食」にまつわるエピソードを募り作られたエッセイ集。プロジェクト「ロココ・キッチン」として映画の制作も進められている。				

東日本大震災・原発事故を題材にした文学

馬たちよ、それでも光は無垢で	古川 日出男／著	新潮社	2011	LS913.6/F6/1
鋼の綻び	相場 英雄／著	徳間書店	2012	LS913.6/A22/1
阿武隈共和国独立宣言	村雲 司／著	現代書館	2012	LS913.6/M29/1
暗い夜、星を数えて 3・11被災鉄道からの脱出	彩瀬 まる／著	新潮社	2012	LS916/A7/1
光の山	玄侑 宗久／著	新潮社	2013	LS913.6/G4/1
漂流者たち	柴田 哲孝／著	祥伝社	2013	LS913.6/S50/3
ゾーンにて	田口 ランディ／著	文藝春秋	2013	913.6/77135/
フクシマ・ゴジラ・ヒロシマ	クリストフ・フィアット／著、 平野 暁人／訳	明石書店	2013	LS953/F1/1
祈りの証明 3.11の奇跡	森村 誠一／著	KADOKAWA	2014	913.6/モセ142/
アポロンの嘲笑	中山 七里／著	集英社	2014	LS913.6/N32/1
リクと白の王国	田口 ランディ／著	キノブックス	2015	LS913.6/T41/2
リバーズ	相場 英雄／著	双葉社	2015	LS913.6/A19/3
ザ・原発所長 上・下 幻冬舎文庫 [平成27年(2015)初出]	黒木 亮／著	幻冬舎	2020	LS913.6/K75/ 1-1-2~1-2-2
亡国記	北野 慶／著	現代書館	2015	LS913.6/K76/1
LIVE!LOVE!SING! 生きて愛して歌うこと	一色 伸幸／著	河出書房新社	2015	LS913.6/I34/1
彼女の人生は間違いじゃない	廣木 隆一／著	河出書房新社	2015	LS913.6/H36/1
あるいは修羅の十億年	古川 日出男／著	集英社	2016	LS913.6/F6/2
ムーンナイト・ダイバー	天童 荒太／著	文藝春秋	2016	LS913.6/T46/1~2
バラカ	桐野 夏生／著	集英社	2016	LS913.6/K77/1
象は忘れない	柳 広司／著	文藝春秋	2016	LS913.6/Y29/1
黒い巨塔 最高裁判所	瀬木 比呂志／著	講談社	2016	913.6/ヒビ16X/
絆 走れ奇跡の子馬 集英社文庫 [平成29年(2017)初出]	島田 明宏／著	集英社	2020	LS913.6/S71/1-2
無情の神が舞い降りる	志賀 泉／著	筑摩書房	2017	LS913.6/S70/1
希望の鎮魂歌 ホロコースト第二世代が訪れた広島、長崎、福島	エヴァ・ホフマン／[著]、 早川 敦子／編訳	岩波書店	2017	LS935/H1/1
竹林精舎	玄侑 宗久／著	朝日新聞出版	2018	LS913.6/G4/2
シンドローム 上・下 講談社文庫 [平成30年(2018)初出]	真山 仁／[著]	講談社	2020	LS913.6/M44/ 1-1-2~1-2-2
エスぺランサ 上・下	郷原 茂樹／著	幻冬舎メディアコン サルディング	2019	LS913.6/G5/ 1-1~1-2
藻屑蟹 徳間文庫	赤松 利市／著	徳間書店	2019	LS913.6/A28/1-2
小説Fukushima50 角川文庫	周木 律／[著]	KADOKAWA	2020	LS913.6/S83/1
再建の神様 PHP文芸文庫 [令和3年(2021)初出]	江上 剛／著	PHP研究所	2024	LS913.6/E5/1-2
αとω	村上 政彦／著	鳥影社	2021	LS913.6/M25/2
見上げれば青い空 福島県の北の端・新地町小さな旅館の女将の東日本大震災体験記	村上 美保子／著	イー・ピックス	2023	LS916/M14/2
荒れ地の種	江上 剛／著	光文社	2024	LS913.6/E5/2

代表的な福島の文学をまとめたもの

ふくしまの文学 I～Ⅲ(全3巻)	福島民報社／編	福島民報社	1985	LS918.6/F3/1-1~1-3
ふるさと文学館 第8巻 福島	木原 直彦／[ほか]編	ぎょうせい	1994	LS918.6/K7/1
書 ふくしま文学のふる里100選 第2版	福島県教育委員会文化課／編	福島県教育委員会 文化課	1995	LS910.3/F1/3
福島県文学全集 第1期(全6巻)・第2期(全6巻)	澤 正宏／編	郷土出版社	2001~ 2002	LS918.6/F4/1-1~1-6、 LS918.6/F4/2-1~2-6
ふるさと文学さんぽ 福島	澤 正宏／監修	大和書房	2012	LS918.6/S4/3
福島の文学 11人の作家 講談社文芸文庫	講談社文芸文庫／編	講談社	2014	LS918.6/S6/1

参考資料:『ふくしま文学のふる里100選 第2版』福島県教育委員会文化課／編・発行 1995